

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号

特開2003 - 153867

(P2003 - 153867A)

(43)公開日 平成15年5月27日(2003.5.27)

(51) Int.Cl ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト [*] (参考)
A 6 1 B 5/00 5/0205	102	A 6 1 B 5/00 5/02	102 B 4 C 0 1 7 D

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 5 数)

(21)出願番号 特願2001 - 355564(P2001 - 355564)
 (22)出願日 平成13年11月21日(2001.11.21)

(71)出願人 501085108
 株式会社アイ・ディ・テクニカ
 東京都千代田区内神田3丁目22番7号
 (71)出願人 501451691
 西条 公教
 東京都江戸川区船堀三丁目5番7 - 2202号
 (72)発明者 井藤 久男
 東京都千代田区内神田三丁目22番7号 株式
 会社アイ・ディ・テクニカ内
 (72)発明者 西条 公教
 東京都江戸川区船堀三丁目5番7 - 2202号
 (74)代理人 100067688
 弁理士 中村 公達

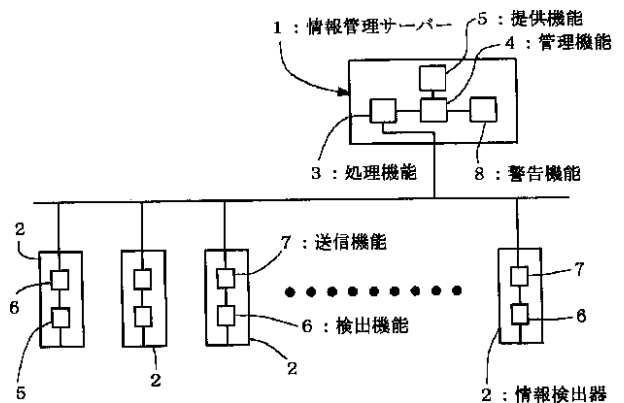
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 被検者の健康状態管理装置

(57)【要約】

【目的】入院している被検者に対する看護婦の手間や記入ミスを省け、通院中の被検者に対する看護婦の検査手間を省け、在宅被検者による測定不完全や測定洩れを防げ、以て十分な測定結果を得ることを可能にする。

【構成】本発明にかかる被検者の健康状態管理装置は、情報管理サーバー(1)と、情報検出器(2)を包含する。該情報管理サーバーは拠点に配置され、各種類の情報をそれぞれの種類ごとに処理する処理機能(3)、処理された情報を管理する管理機能(4)及び該管理している情報を提供する提供機能(5)を有する。該情報検出器は該情報管理サーバーと導結されて被検者エリアに配置され、被検者から該種類ごとの情報を検出する検出機能(6)と、検出した情報を該情報管理サーバーに送信する送信機能(7)を有している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報管理サーバ(1)と、情報検出器(2)を包含し、

該情報管理サーバ(1)は拠点に配置され、各種類の情報をそれぞれの種類ごとに処理する処理機能(3)、処理された情報を管理する管理機能(4)及び該管理している情報を提供する提供機能(5)を有し、
該情報検出器(2)は該情報管理サーバ(1)と導結されて被検者エリアに配置され、被検者から該種類ごとの情報を検出する検出機能(6)と、検出した情報を該情報管理サーバ(1)に送信する送信機能(7)を有していることを特徴とする被検者の健康状態管理装置。

【請求項 2】 該情報管理サーバ(1)は管理している情報と該情報検出器(2)から新たに送信される情報との格差に応じて警告を発する警告機能(8)を有している請求項 1 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【請求項 3】 該情報検出器(2)は筒体(21)の形式となっている請求項 1 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【請求項 4】 該筒体(21)は体温センサー(22)、血圧センサー(23)及び脈拍センサー(24)を備えている請求項 3 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【請求項 5】 該情報検出器(2)はプレート(21')の形式となっている請求項 1 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【請求項 6】 該プレート(21')は体温センサー(22')、血圧センサー(23')及び脈拍センサー(24')を備えている請求項 6 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【請求項 7】 該提供機能(5)は、管理している各種類の情報を需要者の要求に応じて提供するようになっている請求項 1 に記載の被検者の健康状態管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は被検者の健康状態管理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】被検者が例えば入院患者の場合、看護婦が毎日ベッドを巡回して患者の体温、血圧、脈拍数等をチェックして記録をとっている。この巡回は日に3～4回に及ぶこともある。

【0003】また、被検者が通院患者の場合は登院してきたときに看護婦が測定して記録し、在宅療養者の場合は、被検者にこれらのチェックを行わせて記録させるようにしている。

【0004】

【発明が解決すべき課題】入院患者の場合、ベッド数が多いと、看護婦の労力は大変なもので患者の取り違えや数値の読み誤り等による記入ミスが起こる危険性もある。

【0005】通院患者の場合、看護婦が一々測定して記録せねばならず面倒で、在宅療養者の場合、測定の仕方

が不完全であったり、測定洩れをすることがあり、十分な測定結果が得られない恐れが多分にある。

【0006】本発明は上記の課題を解決する被検者の健康状態管理装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決すべき手段】本発明にかかる被検者の管理状態管理装置は情報管理サーバと、情報検出器を包含している。該情報管理サーバは拠点に配置され、各種類の情報をそれぞれの種類ごとに処理する処理機能、処理された情報を管理する管理機能及び該管理している情報を提供する提供機能を有している。そして、該情報検出器は該情報管理サーバと導結されて被検者エリアに配置され、被検者から該種類ごとの情報を検出する検出機能と、検出した情報を該情報管理サーバに送信する送信機能を有している。

【0008】被検者は情報検出器と関係をもつことにより、例えば触れたり、体内に取り入れられたりすることにより、この情報検出器により種類ごとの情報を検出される。この種類は、被検者から検出することが必要とされるものによって、決められる。

【0009】情報検出器は情報管理サーバに導結されているので、自身が検出した種類毎の情報をこの情報管理サーバに送信する。

【0010】情報管理サーバは情報検出器から送られてくる種類ごとのいろいろな情報を処理し、古い情報と新しい情報を共に、古い情報を新しい情報と入れ替えて、又は古い情報を新しい情報と比較した結果として、管理する。この情報管理の仕方には、前記の例以外にも種々の仕方があるが、ここでは言及しない。

【0011】上記のようにして、管理された情報を随時参照することにより、被検者の健康状態を、被検者から離別した位置で知悉することが可能となる。これにより、入院している被検者に対する看護婦の手間や記入ミスを省け、通院中の被検者に対する看護婦の検査手間を省け、在宅被検者による測定不完全や測定洩れを防げ、以て十分な測定結果を得ることができる。

【0012】該情報管理サーバは管理している情報と該情報検出器から新たに送信される情報との格差に応じて警告を発する警告機能を有している。この場合、警告の種類は光や音が好ましく、警告の発生により被検者の測定されている対象の異常を容易に知ることができる。

【0013】該情報検出器は筒体の形式となってもよい。この場合、被検部を手とすることにより、被検者が情報検出器を自分の身体にあてがって保持する必要がなくなるので、握力の弱い被検者であっても情報検出器に対する接近を容易に行え、違和感がない。

【0014】該筒体は体温センサー、血圧センサー及び脈拍センサーを備えていてもよい。この場合、一つの筒体で体温、血圧状態及び脈拍数を測定できるので、測定

作業が簡単に行われる。

【0015】該情報検出器はプレートの形式となってもよい。この場合、情報検出器は卓子や机上に安定して置かれ、多少の振動ではこれらから落下する恐れはない。

【0016】該プレートは体温センサー、血圧センサー及び脈拍センサーを備えていてもよい。この場合、一枚のプレートで体温、血圧及び脈拍数を測定できるので、測定作業が簡単に行われる。

【0017】該提供機能は、管理している各種類の情報 10 を需要者の要求に応じて提供するようになっていてもよい。この場合、各種類の情報は医者等の需要者の要求がないと提供されることがないので、徒に情報が関係の無い者に開示されるのを防げる。

【0018】

【発明実施の形態】図1で、1は情報管理サーバー、2は情報検出器である。情報サーバー1は拠点、例えば病院の管理室、ナースセンターに配置される。

【0019】この情報管理サーバー1は通常のように、被検者に関する必要なあらゆる情報、例えば住所、氏 20 名、年齢、現在又は既往の各種類の疾病を、それぞれの種類ごとに処理する処理機能3、処理された情報を管理する管理機能4及びこの管理している情報を提供する提供機能5を有している。

【0020】情報検出器2は情報管理サーバー1と導結されて被検者エリアに配置される。この被検者エリアは、病院の患者のベッド脇、外来患者の診察室、被検者の自宅等、被検者が直接に情報検出器2と関係する場所を包含する。この情報検出器2は、被検者から種類ごとの情報を検出する検出機能5と、検出した情報を情報管 30 理サーバー1に送信する送信機能7を有している。

【0021】被検者は情報検出器2に触れたり、体内に取り入れたりすることにより、この情報検出器2により種類ごとの情報を検出される。この種類は、被検者から検出することが必要とされるものによって、決められる。情報検出器2は情報管理サーバー1に、自身が検出した種類毎の情報を、送信する。

【0022】情報管理サーバー1は、情報検出器から送られてくる種類ごとのいろいろな情報を処理し、管理する。この管理の仕方は、例えば、新旧の情報を併存する 40 場合、新旧の情報を入れ替える場合、又は新旧の情報を比較して新しい情報とする場合がある。勿論、これら以外にも情報管理の仕方は種々あるが、ここでは言及しない。

【0023】この管理された情報を随時参照すれば、被検者と対面しなくてその健康状態がわかる。そのため、入院被検者に対する看護婦の巡回診療や記入ミスを省け、通院被検者に対する看護婦の検査手間を省け、在宅被検者による測定の不備や脱洩を防げる。

【0024】情報管理サーバー1は管理している情報と 50

この情報検出器2から新たに送信される情報との格差に応じて警告を発する警告機能8を有している。警告の種類は光や音が好ましい。こうすると、警告の発生により被検者の測定されている対象の異常を容易に知ることができる。

【0025】情報検出器2は筒体21の形式となっている。こうすると、被検部を手とすることにより、被検者が情報検出器2を自分の身体にあてがって保持する必要がなくなるので、握力の弱い被検者であっても情報検出器2に対する接近を容易に行え、違和感がない。

【0026】筒体21は体温センサー22、血圧センサー23及び脈拍センサー24を備えている。こうすると、一つの筒体21で体温、血圧及び脈拍数を測定できるので、測定作業が簡単に行われる。

【0027】体温センサー22と血圧センサー23は手形のそれぞれ掌に対応して、また脈拍センサー24は指の位置に対応して、筒体21に設けられている。これらセンサー22、23、24の設置位置に制限はないが、こうすると、各測定箇所がそれぞれに対応するセンサー22、23、24の位置に対向するように筒体21を握るだけで、体温、血圧及び脈拍数を測定でき、測定する対象の変る度に筒体21を握り直す必要はない。ここで、センサー22、23、24は接触式であればその形状等に制限はなく、公知のものを使用できる。

【0028】情報検出器2はプレート21'の形式となっている。こうすると、情報検出器2は卓子や机上に安定して置かれ、多少の振動ではこれらから落下する恐れはない。

【0029】プレート21'は体温センサー22'、血圧センサー23'及び脈拍センサー24'を備えている。こうすると、一枚のプレート21'で体温、血圧及び脈拍数を測定できるので、測定作業が簡単に行われる。

【0030】体温センサー22'、血圧センサー23'及び脈拍センサー24'は手形の掌や指の位置にそれぞれ対応して、プレート21'に設けられている。これらセンサー22'、23'、24'の設置位置に制限はないが、こうすると、被検部の掌を、各測定箇所がそれぞれに対応するセンサーの22'、23'、24'の位置に対向するように、プレート上に置くだけで、体温、血圧及び脈拍数を測定でき、測定する対象の変る度にプレート21'上で掌を移動させる必要はない。ここで、センサー22'、23'、24'は接触式であればその形状等に制限はなく、公知のものを使用できる。

【0031】なお、情報検出器2の測定対象は、体温、血圧、脈拍に限定されず、例えば血糖値であってもよい。その場合、前記筒体21或いは前記プレート21'に図示しない血糖値センサーを付加すればよい。ここで、使用する血糖値センサーは接触式であればその形状等に制限はなく、公知のものを使用できる。

【0032】提供機能5は、管理している各種類の情報を需要者、例えば医者、の要求に応じて提供するようになっている。こうすると、各種類の情報は需要者の要求がないと提供されることがないので、徒に情報が関係の無い者に開示されるのを防げる。

【0033】

【発明の効果】本発明によれば、被検者エリアに情報検出器を配置して被検者から種類ごとの情報を検出し、これらの情報を拠点に配置した情報管理サーバーに送信し、処理して管理するようにしたので、管理されている情報を随時参照することにより、被検者の健康状態を、被検者から離別した位置で知悉することが可能で、入院被検者に対する看護婦の労力や記入ミスを省け、通院被検者に対する看護婦の検査手間を省け、在宅被検者による測定の不備や脱洩を防げ、以て十分な測定結果を得ることができる。

【0034】請求項2によれば、情報管理サーバーの警告の発生で被検者の測定されている対象の異常を容易に知ることができる。

【0035】請求項3によれば、被検者が情報検出器を自分の身体にあてがって保持することなく、筒体を握るだけで情報検出器を把握でき、握力の弱い被検者でも情報検出器に対する接近を容易に行え、違和感がない。

【0036】請求項4によれば、一つの筒体だけで体温、血圧及び脈拍数を測定でき、測定作業を簡単に行える。

【0037】請求項5によれば、情報検出器がプレート形式なので、情報検出器は卓子や机の上に安定して置かれ、多少の振動ではこれらから落下する恐れはない。*

*【0038】請求項6によれば、一枚のプレートで体温、血圧及び脈拍数を測定できるので、測定作業が簡単に行われる。

【0039】請求項7によれば、提供機能は、管理している各種類の情報を、需要者の要求がないと提供しないので、徒に情報が関係の無い者に開示されるのを防げる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる被検者の健康状態管理装置の具体例を示すシステム図である。

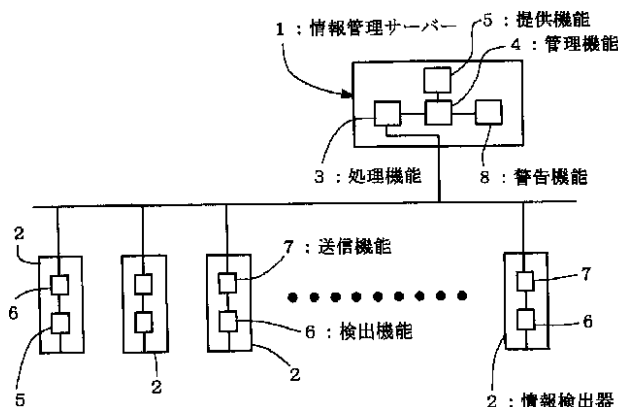
【図2】情報検出器が筒体の形式となった場合を例示する斜面図である。

【図3】情報検出器がプレートの形式となった場合を例示する正面図である。

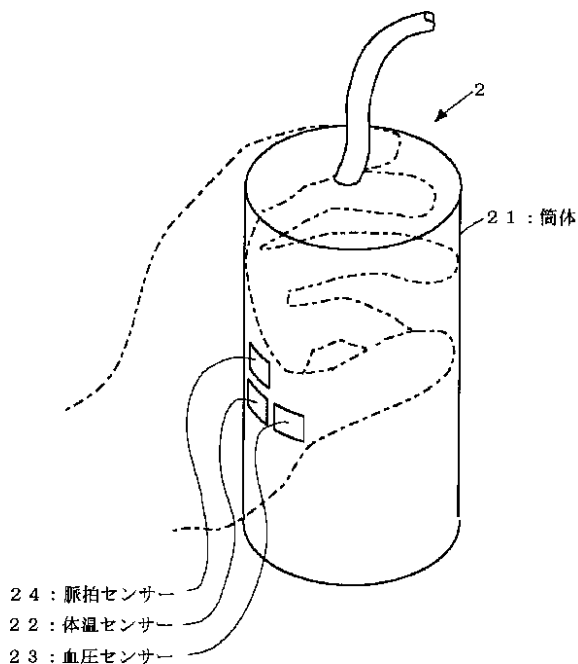
【符号の説明】

- 1 情報管理サーバー
- 2 情報検出器
- 3 処理機能
- 4 管理機能
- 5 提供機能
- 6 検出機能
- 7 送信機能
- 8 警告機能
- 21 筒体
- 21' プレート
- 22、22' 体温センサー
- 23、23' 血圧センサー
- 24、24' 脈拍センサー

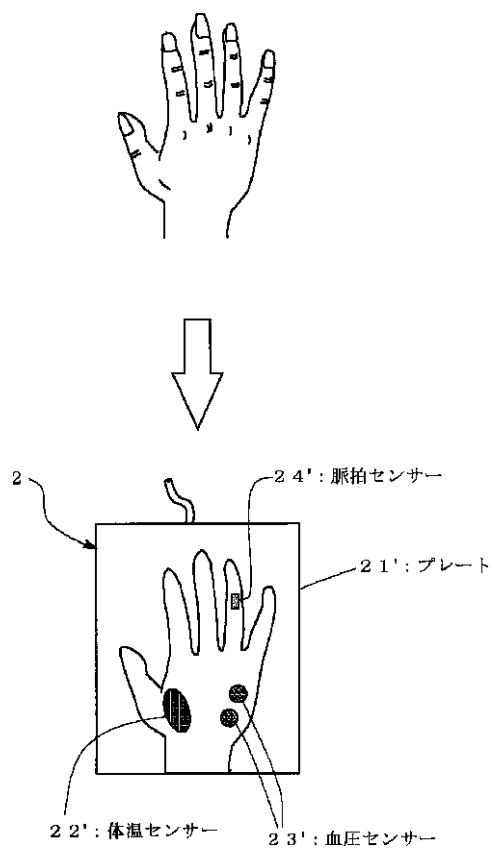
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(72)発明者 西条 公教
東京都江戸川区船堀三丁目5番7 - 2202号

Fターム(参考) 4C017 AA08 AA10 AA16 AB03 BC11
CC01 FF17

专利名称(译)	受检查者的健康状况管理装置		
公开(公告)号	JP2003153867A	公开(公告)日	2003-05-27
申请号	JP2001355564	申请日	2001-11-21
[标]申请(专利权)人(译)	爱迪铁三角 西条 公教		
申请(专利权)人(译)	艾蒂铁三角有限公司 西条 公教		
[标]发明人	井藤久男 西条公教		
发明人	井藤 久男 西条 公教		
IPC分类号	A61B5/00 A61B5/0205		
FI分类号	A61B5/00.102.B A61B5/02.D A61B5/02.G		
F-TERM分类号	4C017/AA08 4C017/AA10 4C017/AA16 4C017/AB03 4C017/BC11 4C017/CC01 4C017/FF17 4C117/XA04 4C117/XA07 4C117/XB04 4C117/XB05 4C117/XB06 4C117/XD17 4C117/XE05 4C117/XE13 4C117/XE15 4C117/XH16 4C117/XJ03 4C117/XJ12 4C117/XJ45 4C117/XL01 4C117/XL13 4C117/XL14 4C117/XL15 4C117/XM12 4C117/XR02		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：通过消除医生对住院病人的劳动和错误的写作来获得足够的测量结果，消除劳动者对于去医院的患者进行检查的劳动力并防止不完美的测量和测量泄漏由病人在家里制作。解决方案：用于患者健康状况的管理设备包括信息管理服务器（1）和信息检测器（2）。信息管理服务器设置在基点，并具有用于处理各种信息的处理功能（3），用于管理处理信息的管理功能（4）和用于提供管理信息的提供功能（5）。信息检测器布置在患者区域中并且具有用于检测来自患者的每种信息的检测功能（6）和用于将检测到的信息发送到信息管理服务器的传输功能（7）。

